

DynaMedical 定点管理システム — 病院の物流をデータで見直す

発注の「勘」を、データに。 病院の物流を、 定期的に見直すためのシステム

「発注点はいくつ?」「安全在庫はどれくらい?」「この物品、発注のタイミング合ってる?」

物品管理の数字を、実際の消費データからまとめて計算します。

- 担当者が変わっても、同じ基準で続けられる。
- 月に1回の見直しで、欠品や過剰在庫を減らせる。

消費パターンで グループ分け

似た動きの物品をまとめ、
管理の手間を減らします

特殊な物品を 自動で仕分け

急な変動・
低頻度品を別管理にして見落とし
を防ぐ

発注の基準を まとめて計算

発注点・安全在庫・
まとめ買い単位を自動で算出

定期的 に見直せる

月に1回など定点でデータを見直
して改善

導入効果の目安

数時間 に短縮

発注基準の見直し時間 (数日 → 数時間)

10-30%

過剰在庫の削減目標

同じ基準

担当者が変わっても運用が続く

まずは30分のオンライン説明会から。

今の発注基準を、データで見直すイメージをご説明します。

お問い合わせ先

■ 087-887-8881

■ medical-all@dynaxt.co.jp

■ <https://dynaxt.co.jp>

DynaMedical-定点とは

病院の物流データを「定期的に見直す」ための分析システムです。物品の消費・入荷・発注の動きをデータから読み取り、発注の基準を自動で計算します。似た動きの物品はまとめ、特殊な物品は別に仕分けします。

今までのやり方との違い

観点	今までのやり方	DynaMedical-定点
発注点の決め方	担当者の経験と勘	消費データから自動で計算
物品の管理	全部を同じやり方で	似た動きの物品をグループ分け
特殊品の扱い	気づいたら対処	自動で仕分けて注意を促す
運用の見直し	年1回あるかないか	いつでも最新データで再計算
担当者交代	運用も変わりがち	同じ基準で続けられる
情報の置き場所	Excelで個人管理	院内システムに一元化

できること

① 似た動きの物品をグループ分け

「安定消費」「不規則」「めったに使わない」などに自動分類

② 特殊な物品を別に仕分け

急な変動・季節品・低頻度品を別リストでまとめて提示

③ 発注基準をまとめて計算

発注点・安全在庫・まとめ買い単位を実データから算出

④ グラフで時系列を確認

気になる物品をクリックして消費・在庫の推移をグラフ表示

どう動くか

病院の物流データ（消費・入荷・発注） → DynaMedical-定点が読み取り → 似た動きの物品をグループ分け → 発注の基準（発注点・安全在庫など）を計算 → グラフと一覧で表示 → SPD担当者が確認・決定

安心して使えるしくみ

- インターネット不要 — 病院の物流データは一切外部に出ません
- 使える人・使えない人を病院／部署／役職ごとに細かく設定できます
- 計算結果は履歴として残り、いつ・誰が・どう変更したかを後から確認できます
- 最終判断は人が行います — 候補を提示するだけで、担当者が納得して決められます